

2019年度(2020年3月期) 第1四半期決算説明資料

IHI

2019年8月7日

株式会社 IHI



目次

1. 2019年度第1四半期 連結決算

連結決算の概要(連結受注高, 連結損益計算書).....	4
報告セグメント別内訳.....	5
営業外損益.....	8
連結貸借対照表.....	9
補足資料.....	10

2. 2019年度 連結業績見通し

通期業績見通し.....	13
報告セグメント別内訳.....	14

3. 報告セグメント別の概況

資源・エネルギー・環境.....	17
社会基盤・海洋.....	19
産業システム・汎用機械.....	21
航空・宇宙・防衛.....	23

<参考資料>.....	25
-------------	----

※ 各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

1. 2019年度第1四半期 連結決算

1. 2019年度第1四半期 連結決算 連結決算の概要(連結受注高, 連結損益計算書)

2019年度1Q 売上平均レート(米ドル) 110.44円

(億円)

	'18年度1Q	'19年度1Q	増 減
受 注 高	2,416	2,200	▲ 216
売 上 高	3,371	2,811	▲ 559
営 業 利 益	127	9	▲ 117
経 常 利 益	167	▲ 6	▲ 174
税金等調整前 四半期純利益	167	▲ 6	▲ 174
親会社株主に帰属する 四半期純利益	61	▲ 27	▲ 89

1. 2019年度第1四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(受注高・受注残高)

(億円)

	受注高			受注残高		
	'18年度1Q	'19年度1Q	増減	'18年度末	'19年度1Q	増減
資源・エネルギー・環境	555	472	▲ 83	5,231	5,139	▲ 91
社会基盤・海洋	265	340	75	1,916	1,959	43
産業システム・汎用機械	1,153	1,160	7	1,803	2,134	330
航空・宇宙・防衛	386	135	▲ 251	5,626	4,702	▲ 924
報告セグメント計	2,360	2,108	▲ 251	14,578	13,936	▲ 641
その他	161	195	34	204	198	▲ 6
調整額	▲ 104	▲ 103	0	-	-	-
合計	2,416	2,200	▲ 216	14,782	14,134	▲ 648

海外受注高・受注残高	903	666	▲ 237	5,798	4,973	▲ 825
海外受注高・受注残高比率	37%	30%	▲ 7%	39%	35%	▲ 4%

1. 2019年度第1四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(売上高・営業利益)

(億円)

	売上高			営業利益		
	'18年度1Q	'19年度1Q	増減	'18年度1Q	'19年度1Q	増減
資源・エネルギー・環境	843	648	▲ 195	▲ 1	▲ 57	▲ 55
社会基盤・海洋	285	328	42	7	25	17
産業システム・汎用機械	1,048	867	▲ 180	40	2	▲ 37
航空・宇宙・防衛	1,175	902	▲ 272	90	54	▲ 36
報告セグメント計	3,352	2,747	▲ 605	137	24	▲ 112
その他	135	153	18	▲ 3	1	5
調整額	▲ 116	▲ 89	27	▲ 6	▲ 17	▲ 10
合計	3,371	2,811	▲ 559	127	9	▲ 117

海外売上高	1,783	1,422	▲ 360
海外売上高比率	53%	51%	▲ 2%

1. 2019年度第1四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(営業利益の前期比増減要因)

(億円)

	売上高の 増減	工事採算 の変動	為替の変動	販管費の 変 動	合 計
資源・エネルギー・環境	▲ 9	▲ 62		16	▲ 55
社会基盤・海洋	7	13		▲ 3	17
産業システム・汎用機械	▲ 41	▲ 7		11	▲ 37
航空・宇宙・防衛	▲ 20	▲ 24	5	3	▲ 36
報告セグメント計	▲ 63	▲ 80	5	27	▲ 112
そ の 他		6		▲ 1	5
調 整 額		▲ 3		▲ 8	▲ 10
合 計	▲ 63	▲ 77	5	18	▲ 117

報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合があります。

1. 2019年度第1四半期 連結決算 営業外損益

(億円)

	'18年度1Q	'19年度1Q	増 減
金融収支	0	▲ 2	▲ 2
持分法による投資損益	38	▲ 6	▲ 45
為替差損益	16	▲ 11	▲ 27
その他	▲ 14	4	19
営業外損益	39	▲ 16	▲ 56

期末日レートの変動(米ドル) '18年度1Q +4.30円 (期首106.24円→1Q末110.54円)
'19年度1Q ▲3.20円 (期首110.99円→1Q末107.79円)

1. 2019年度第1四半期 連結決算 連結貸借対照表

(億円)

	'18年度末	'19年度1Q末	増減
資産合計	16,645	16,452	▲ 192
(うち 売上債権)	(3,776)	(3,350)	(▲ 426)
(うち 棚卸資産)	(4,419)	(4,853)	(433)
(うち 投資有価証券)	(1,179)	(1,137)	(▲ 42)
負債合計	12,828	12,761	▲ 66
(うち 仕入債務)	(2,900)	(2,788)	(▲ 111)
(うち 前受金)	(1,575)	(1,609)	(34)
(うち 有利子負債残高)	(3,550)	(3,826)	(275)
純資産合計	3,816	3,690	▲ 126
株主資本	3,434	3,328	▲ 106
その他の包括利益累計額	56	21	▲ 35
非支配株主持分等	325	340	15
負債・純資産合計	16,645	16,452	▲ 192
D/Eレシオ(※)	0.93倍	1.04倍	0.11倍
自己資本比率	21.0%	20.4%	▲ 0.6%

有利子負債残高には、リース債務残高('18年度末:174億円, '19年度1Q末:200億円)を含んでいます。

(※) D/Eレシオ=有利子負債/純資産

(1) 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	'18年度1Q	'19年度1Q	増 減
営業キャッシュ・フロー	▲ 66	▲ 299	▲ 232
投資キャッシュ・フロー	▲ 196	▲ 116	80
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 263	▲ 415	▲ 152
財務キャッシュ・フロー	95	191	95

(2) 研究開発費・設備投資額・減価償却費 (億円)

	'18年度1Q	'19年度1Q
研究開発費	70	70
設備投資額	113	114
減価償却費	114	121

設備投資額、減価償却費は、有形固定資産およびソフトウェアに係る金額を示しています。

(2018年度まで有形固定資産に係る金額で開示していたため、'18年度1Qの数値を変更しています)

(3) 海外売上高 (億円)

	'18年度1Q	'19年度1Q
ア ジ ア	337	244
中 国	323	188
北 米	797	804
中 南 米	35	23
欧 州	272	153
そ の 他	17	8
合 計	1,783	1,422
海外売上高比率	53%	51%

2. 2019年度 連結業績見通し

2. 2019年度 連結業績見通し 通期業績見通し

前提為替レート 米ドル **105円**(前回見通し公表時 **105円**)
 (第2四半期以降) ユーロ **130円**(前回見通し公表時 **130円**)

(億円)

	前回見通し※ ('19年度通期) A	今回見通し ('19年度通期) B	前期実績 ('18年度通期)	増 減 B-A
受 注 高	14,500	14,500	13,992	0
売 上 高	14,000	14,000	14,834	0
営 業 利 益	800	800	824	0
経 常 利 益	580	580	657	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	350	350	398	0

前回見通しは、2019年5月8日公表の業績予想数値です。
 (参考)為替感応度(為替相場の1円の変動により、営業利益に与える影響額)
 米ドル 8億円 ユーロ 0億円

2. 2019年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳(受注高通期見通し)

(億円)

	前回見通し ('19年度通期)	今回見通し ('19年度通期)	増 減
資源・エネルギー・環境	3,300	3,300	0
社会基盤・海洋	1,800	1,800	0
産業システム・汎用機械	4,700	4,700	0
航空・宇宙・防衛	4,400	4,400	0
報告セグメント計	14,200	14,200	0
そ の 他	800	800	0
調 整 額	▲ 500	▲ 500	0
合 計	14,500	14,500	0

2. 2019年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳(売上高・営業利益通期見通し)

(億円)

	前回見通し ('19年度通期)		今回見通し ('19年度通期)		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
資源・エネルギー・環境	3,300	180	3,300	180	0	0
社会基盤・海洋	1,700	150	1,700	150	0	0
産業システム・汎用機械	4,500	250	4,500	250	0	0
航空・宇宙・防衛	4,600	330	4,600	330	0	0
報告セグメント計	14,100	910	14,100	910	0	0
その他	800	20	800	20	0	0
調整額	▲ 900	▲ 130	▲ 900	▲ 130	0	0
合計	14,000	800	14,000	800	0	0

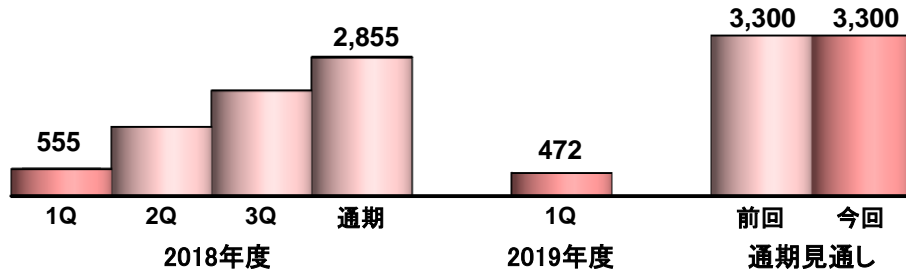
3. 報告セグメント別の概況

3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

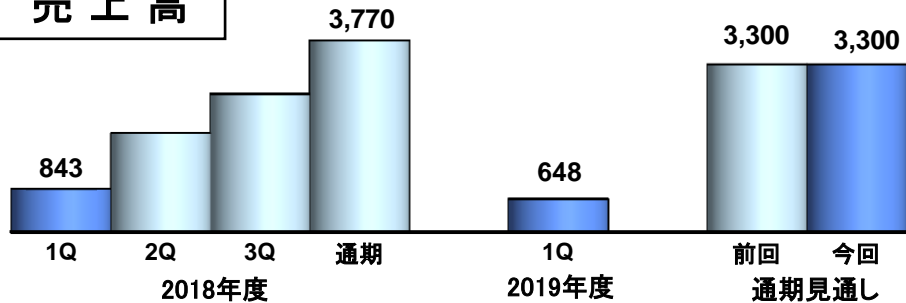
(億円/各期の金額は累計)

前回: 2019年5月8日公表の業績予想数値

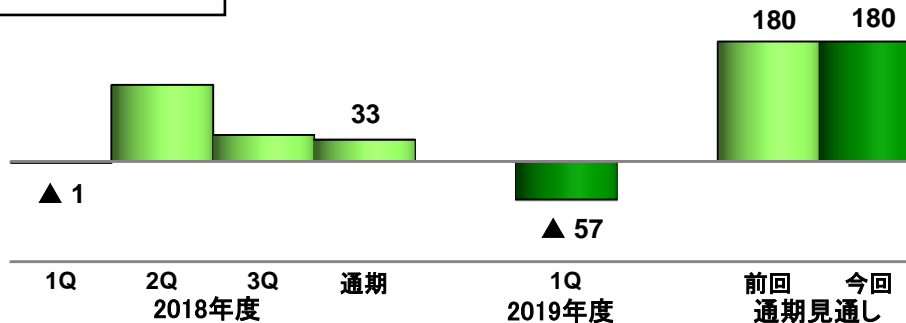
受注高



売上高



営業利益



主要事業: 原動機, ボイラ, プラント, 原子力

<対前年同期 増減内訳>

【受注高】

ボイラで減少しました。

【売上高】

ボイラで工事進捗遅れによる減収, プラントで前期に大型プロジェクトが進捗した反動で減収となりました。

【営業利益】

ボイラや原動機で特定工事の採算性低下の影響により, 減益となりました。

<通期見直し 対前回見直し 増減内訳>

受注高, 売上高, 営業利益いずれも変更ありません。

実績としては特定工事の採算性低下により, 前年同期比で減益となっているものの, 請負金の増額や, 定期検査, メンテナンス工事等での利益が2Q以降に見込まれるため, 通期見直しに変更ありません。

3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円)

	受注高		売上高					
	'18年度 通期	'19年度 通期 (見通し)	'18年度			通期	'19年度	
			1Q	2Q累計	3Q累計		1Q	通期 (見通し)
原 動 機	828	1,030	179	422	632	934	179	930
ボ イ ラ	797	970	270	697	945	1,215	168	1,000
プ ラ ン ト	564	550	230	458	595	801	138	620
原 子 力	305	290	50	120	167	331	48	350

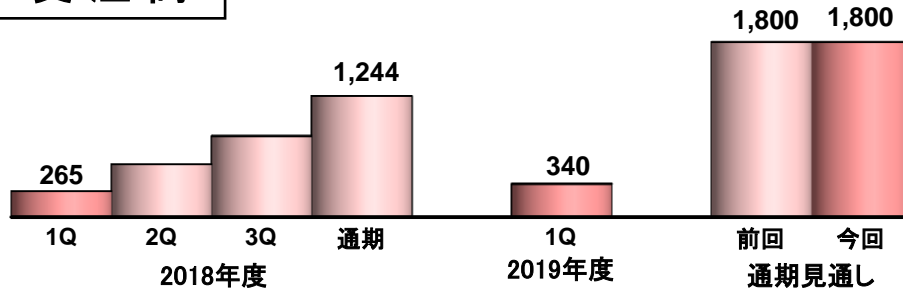
3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

(億円/各期の金額は累計)

前回: 2019年5月8日公表の業績予想数値

主要事業: 橋梁・水門, 交通システム, シールドシステム,
コンクリート建材, 都市開発

受注高



<対前年同期 増減内訳>

【受注高】

交通システムで増加しました。

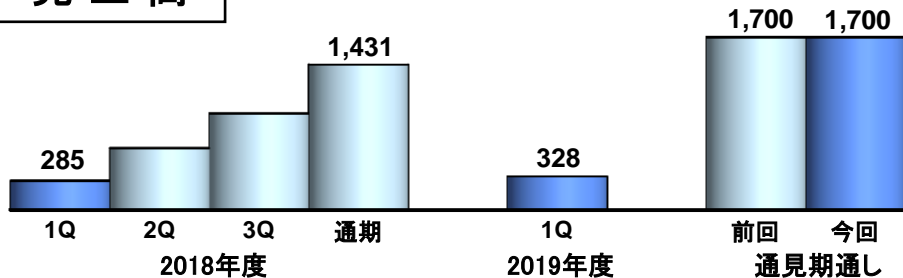
【売上高】

橋梁・水門で増収となりました。

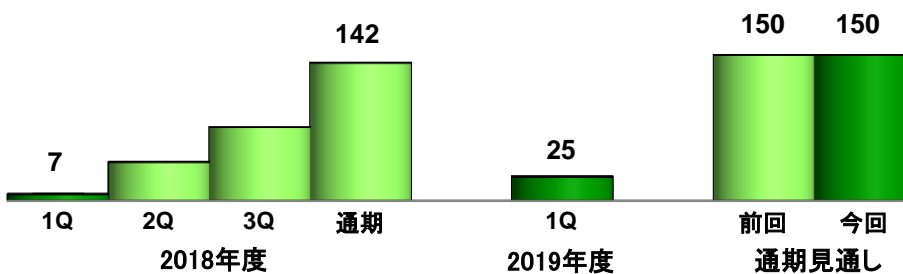
【営業利益】

橋梁・水門や交通システムで増益となりました。

売上高



営業利益



<通期見直し 対前回見直し 増減内訳>

受注高, 売上高, 営業利益いずれも変更ありません。

国内案件の売上が年度末に集中することから, 前年同期及び前回見直しでの前提と概ね同様の進捗であり, 通期見直しに変更ありません。

3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

(億円)

	受注高		売上高					
	'18年度 通期	'19年度 通期 (見通し)	'18年度			通期	'19年度	
			1Q	2Q累計	3Q累計		1Q	通期 (見通し)
橋 梁 ・ 水 門	650	840	152	301	462	720	192	910
シールドシステム	144	260	40	97	146	185	46	220
都 市 開 発	163	170	37	79	119	163	39	170

「都市開発」の豊洲地区関連情報は、P30、P31の<参考資料>をご覧ください。

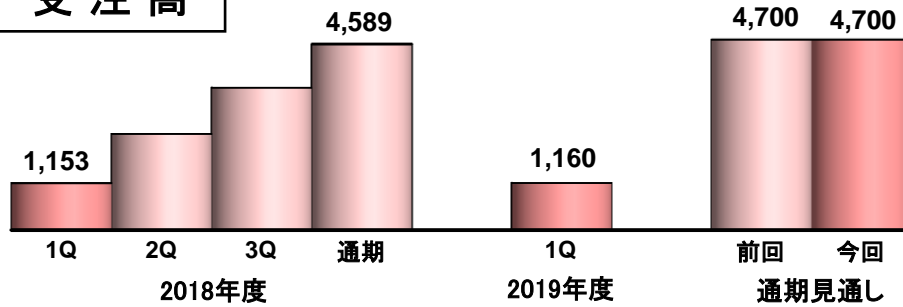
3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円/各期の金額は累計)

前回: 2019年5月8日公表の業績予想数値

主要事業: 車両過給機, パーキング, 回転機械, 熱・表面処理,
運搬機械, 物流・産業システム, 農機

受注高



<対前年同期 増減内訳>

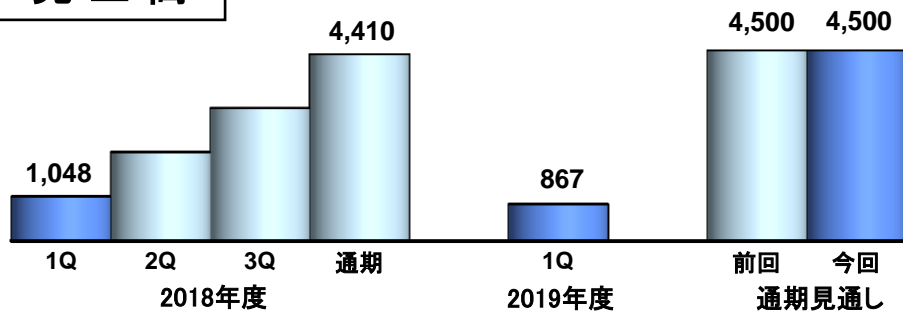
【受注高】

車両過給機で減少したものの、運搬機械で大型案件を受注したことで、増加しました。

【売上高】

車両過給機で減収となったほか、2018年度に小型原動機事業を譲渡した影響により、減収となりました。

売上高

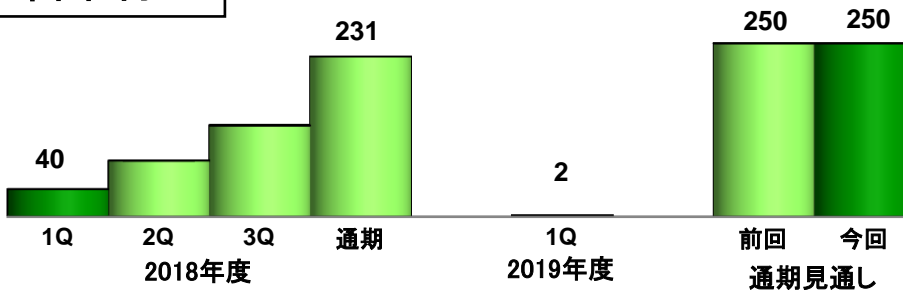


<車両過給機の販売台数>

(万台)

販売年度	1Q	通期
2018年度	181	676
2019年度	144	700

営業利益



<通期見通し 対前回見通し 増減内訳>

受注高, 売上高, 営業利益いずれも変更ありません。

車両過給機については、欧州, 中国を中心に、低調な販売(売上)となったものの、排気ガス及び燃費規制対応に起因する需要は引き続き堅調であり、年度後半に販売が上向く見込みであることから、通期見通しに変更ありません。

3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円)

	受注高		売上高					
	'18年度 通期	'19年度 通期 (見通し)	'18年度			通期	'19年度	
			1Q	2Q累計	3Q累計		1Q	通期 (見通し)
車両過給機	1,902	1,850	516	993	1,477	1,895	387	1,850
パーキング	525	530	77	179	294	497	100	520
回転機械	513	540	106	215	327	495	104	520
熱・表面処理	413	440	111	210	311	416	98	430
運搬機械	332	480	50	79	137	239	37	310

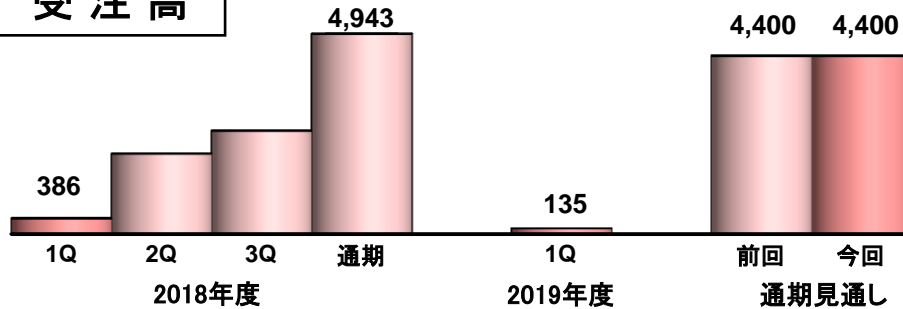
「車両過給機」の詳細は、P29の<参考資料>をご覧ください。

3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

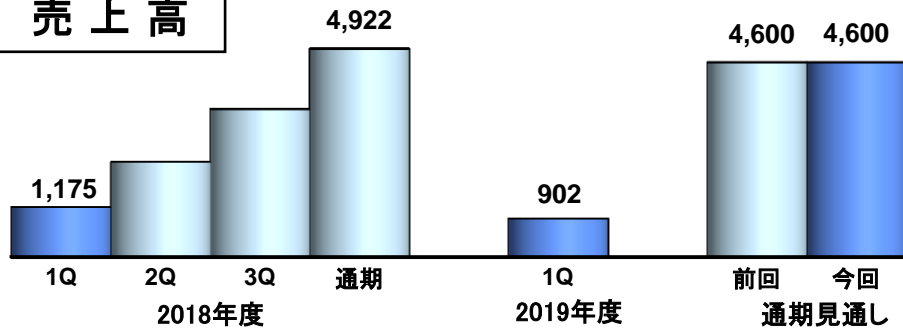
(億円/各期の金額は累計)
前回: 2019年5月8日公表の業績予想数値

主要事業: 航空エンジン, ロケットシステム・宇宙利用, 防衛機器システム

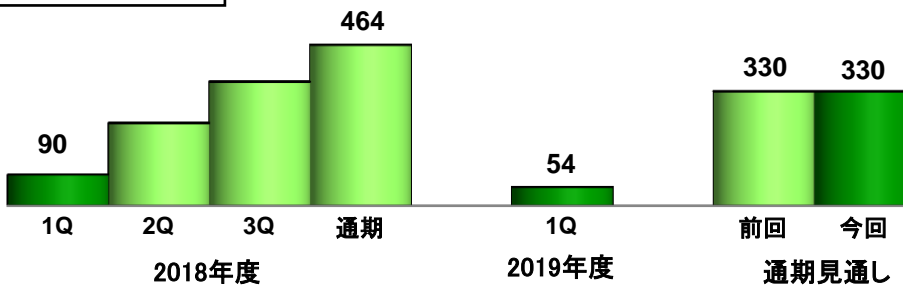
受注高



売上高



営業利益



<対前年同期 増減内訳>

【受注高】

防衛省向け航空エンジン, 民間向け航空エンジン, ロケットシステム・宇宙利用で減少しました。

【売上高】

防衛省向け航空エンジン, 民間向け航空エンジンで減収となりました。

<民間向け航空エンジンの販売台数> (台)

販売年度	1Q	通期
2018年度	390	1,521
2019年度	372	1,600

【営業利益】

民間向け航空エンジンで検査プロセスの厳格化に伴う一時的な減収や, プログラム費用の追加負担の影響等により, 減益となりました。

<通期見通し 対前回見通し 増減内訳>

受注高, 売上高, 営業利益いずれも変更ありません。

民間向け航空エンジンについては, 上記の状況により, 前年同期比で減益となりましたが, 足許でのスペアパーツ販売状況は堅調に推移していることから, 通期見通しに変更ありません。

3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

(億円)

	受注高		売上高					
	'18年度 通期	'19年度 通期 (見通し)	'18年度			通期	'19年度	
			1Q	2Q累計	3Q累計		1Q	通期 (見通し)
民間向け 航空エンジン	3,348	3,200	731	1,525	2,432	3,185	651	3,050

「民間向け航空エンジン」の詳細は、P28の<参考資料>をご覧ください。

<参考資料>

- ・業績の推移
- ・海外大型案件の進捗状況
- ・航空エンジン
- ・車両過給機
- ・都市開発

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019/1Q	2019年度 (見通し)
売上高	15,393億円	14,683億円	15,903億円	14,834億円	2,811億円	14,000億円
営業利益率 営業利益	1.4% 220億円	3.2% 473億円	4.5% 722億円	5.6% 824億円	0.3% 9億円	5.7% 800億円
経常利益	97億円	220億円	214億円	657億円	▲6億円	580億円
親会社株主に 帰属する当期純利益	15億円	52億円	82億円	398億円	▲27億円	350億円
ROE (※1)	0.5%	1.6%	2.6%	11.8%	—	—
ROIC (※2)	2.3%	5.0%	7.7%	8.7%	—	—
D/Eレシオ(※3)	1.12倍	1.10倍	0.92倍	0.93倍	1.04倍	—
配当	3円/株 (中間3円, 期末0円)	0円/株	中間3円/株 期末30円/株 (期末は、株式併合後)	70円/株 (中間30円, 期末40円)	—	70円/株 (中間30円, 期末40円)
為替レート	118.27円/\$	108.27円/\$	111.00円/\$	111.09円/\$	110.44円/\$	—

※1 : ROE(自己資本利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益 / (前期末・当期末平均 自己資本)

※2 : ROIC(投下資本利益率) = 税引後(営業利益 + 受取利息・配当金) / (自己資本 + 有利子負債)

※3 : D/Eレシオ = 有利子負債 / 純資産

エルバ天然ガス液化設備



完成予想図



2019年6月末現在

<進捗状況>

2019年6月末現在で、No.4～10液化モジュール (MMLS) 据付工事と、No.1～3及びBOPは試運転を進行中。進捗は設計:100%, 調達:100%, 据付:94.0%, 試運転:45.7%, プロジェクト全体:91.5%。

<主要工程>

- 2016年3月: 契約締結
- 2016年11月: FERC (米国連邦エネルギー規制委員会) の建設許可承認 (仮設工事着工承認)
- 2017年2月: No.1トレイン液化モジュール (MMLS) 現着開始
- 2019年7月: No.1トレイン 100%定格運転達成
- 2020年4月: プラント全体引き渡し

<プロジェクト概要>

- ・契約内容:エルバ島 天然ガス液化設備のEPC契約
- ・建設地:米国ジョージア州 チャタム郡 サバンナ エルバ島
- ・担当範囲:年産約250万トンの液化設備の設計 (液化モジュールはお客様支給), 建設, 試運転

MMLS: Movable Modular Liquefaction System

液化トレインはプラント全体で10トレインあり, 1トレインは79モジュールで構成

ジマイーストパワー石炭火力発電所



完成予想図



2019年6月末現在

<進捗状況>

2019年6月末現在, #1ボイラ試運転中, #2ボイラ試運転中。ボイラ部分の進捗は設計:約99%, 調達:100%, 据付:約99%, 試運転:約96%, プロジェクト全体:約99%。

<主要工程>

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 2014年 8月: 契約締結 | 2018年10月: 火入れ(#1) |
| 2017年 1月: 立柱(#1) | 2019年 4月: 火入れ(#2) |
| 2017年 7月: 立柱(#2) | 2019年 8月: 商業運転開始(#1) |
| 2018年 4月: 水圧試験(#1) | 2019年12月: 商業運転開始(#2) |
| 2018年11月: 水圧試験(#2) | |

<プロジェクト概要>

- ・契約内容:IPP事業者のJimah East Power社向け石炭焚き発電所のフルターンキー契約
- ・建設地:マレーシア, ネグリスンビラン州ジマ地区
- ・担当範囲:超々臨界圧石炭火力発電所ボイラ (1000MW×2基) の設計・調達・建設及び試運転

(1) 民間向け航空エンジン: 連結売上高推移

(億円)

	実績										見通し
	'13	'14	'15	'16	'17	'18年度			通期	'19年度	
						1Q	2Q累計	3Q累計		1Q	通期
売上高	2,260	2,670	2,991	2,915	2,810	731	1,525	2,432	3,185	651	3,050

(2) 民間向け航空エンジン: 累計販売台数

(台)

	実績(累計)									主要搭載機
	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19/1Q	
V2500	4,980	5,468	5,969	6,469	6,896	7,236	7,508	7,688	7,705	エアバス A319/320/321
GE90	1,399	1,589	1,806	2,039	2,257	2,457	2,617	2,715	2,742	ボーイング B777
CF34	3,242	3,548	3,820	4,156	4,471	4,821	5,085	5,331	5,405	リージョナルジェット (70~110席級)
GEnx	118	259	468	751	1,035	1,295	1,542	1,826	1,904	ボーイング B787/B747-8
PW1100G					16	148	398	1,058	1,213	エアバス A320Neo
Passport20							13	66	87	ボンバルディア社 Global7500
合計	9,739	10,864	12,063	13,415	14,675	15,957	17,163	18,684	19,056	

(注) 販売台数は、機体メーカーに引き渡した台数であり、工場出荷台数とは異なります。

<地域別連結売上高推移>

(億円)

	実績										見通し
	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18年度		'19年度		
							1Q	通期	1Q	通期	
日 本	339	353	375	346	389	398	107	446	101	410	
ア ジ ア	248	298	275	216	158	117	26	110	25	110	
中 国	181	234	243	249	485	719	175	631	127	720	
北 米	13	16	18	24	33	84	28	116	31	120	
中 南 米	0	0	7	34	61	74	21	75	16	90	
欧 州	432	602	756	743	617	811	156	513	83	400	
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	1,216	1,507	1,677	1,616	1,746	2,205	516	1,895	387	1,850	

(1) 豊洲地区 賃貸収入の実績推移

(億円)

	実績							見通し			
	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18年度		'19年度		
							1Q	通期	1Q	通期	
賃貸収入	92	91	93	101	93	92	23	93	23	93	

(2) 豊洲地区 賃貸収入, 賃貸費用実績(当期)

(億円)

	賃貸収入	賃貸費用		差額
		減価償却費	その他	
'19年度1Q	23	9	7	6

豊洲1~3丁目地区 開発マップ

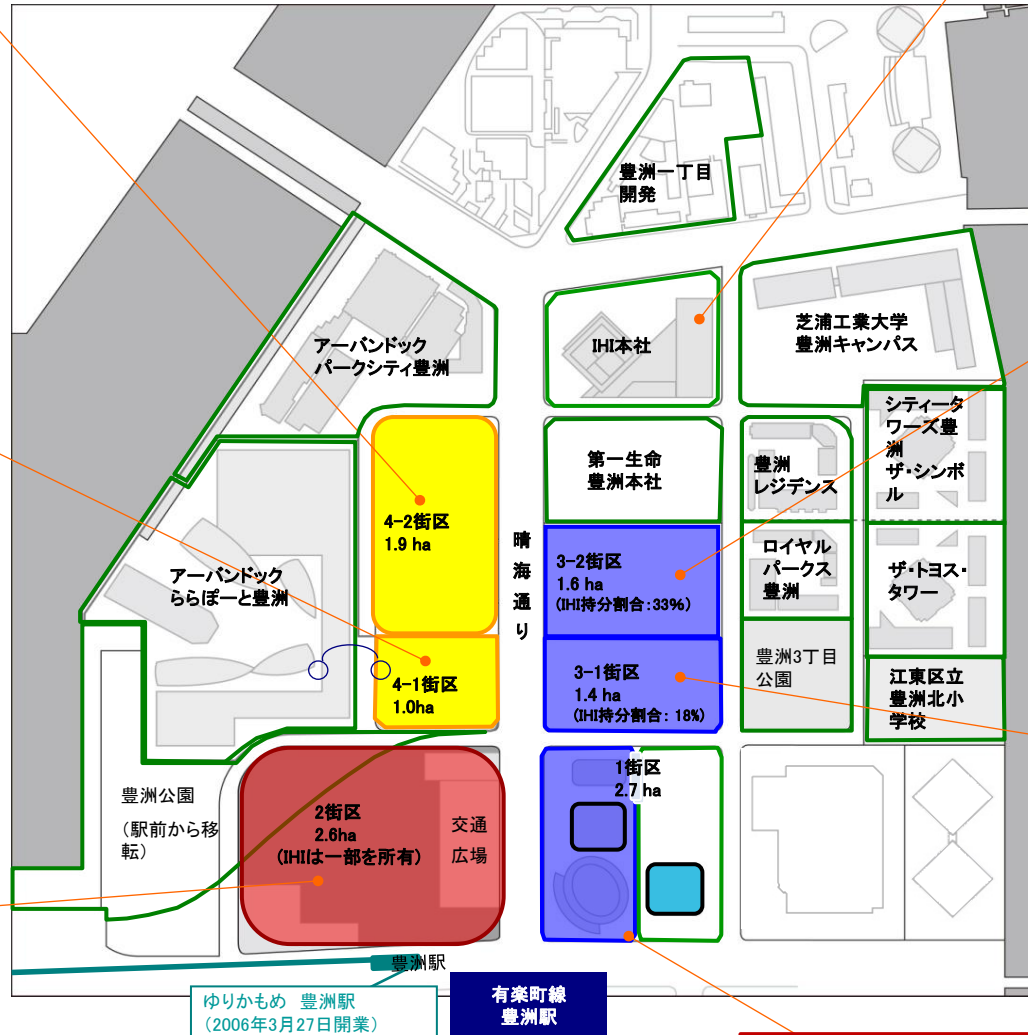
幼稚園、保育園、カフェ、結婚式場
敷地面積：19,492㎡
2010年3月～2011年2月竣工



アーバンドック ららぽーと豊洲ANNEX (三井不動産)
地上5F, 高さ約25m, 延床面積：24,721㎡
2006年10月開業



複合ビルAC棟 (IHI, 三井不動産)
地上36F, 高さ178m, 延床面積約185,000㎡
2020年4月竣工予定

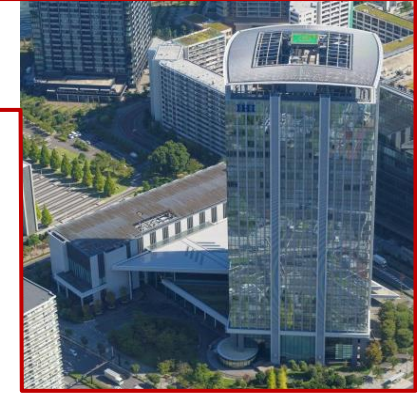


シビックセンター棟：2015年9月開業
消防署棟：2016年6月竣工

IHI所有地	約5ha
--------	------

- 建物賃貸
- 土地賃貸
- 建物賃貸(借地)
- 第一種市街地再開発事業 ※1
- 売却・寄付・交換済

豊洲IHIビル
地上25F, 高さ：約125m, 延床面積：97,617㎡
2006年2月竣工



豊洲フォレシア (IHI, 三菱地所(SPC))
地上16F, 高さ：約75m, 延床面積：101,503㎡
2014年7月竣工



豊洲フロント (IHI, 三菱地所(SPC), 三菱UFJ信託銀行)
地上15F, 高さ：約75m, 延床面積：106,861㎡
2010年8月竣工



豊洲センタービル
地上37F, 高さ：約165m, 延床面積：100,069㎡
1992年10月竣工

豊洲センタービルアネックス
地上33F, 高さ：約150m, 延床面積：105,448㎡
2006年8月竣工

※1 都市再開発法で定める手法の一つ

IHI

Realize your dreams

ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。